



NIPPON KAYAKU GROUP

TOP MESSAGE

企業ビジョンであるKAYAKU spiritを实践し、
事業を通じて持続可能な社会・環境に貢献し続けます

代表取締役社長

涌元厚宏

私がKAYAKU spiritの中で特に大切にしているのは、 「良心の結合」という言葉

CSRレポート2020の発行に当たりご挨拶申し上げます。
私たち日本化薬グループはKAYAKU spirit「最良の製品を
不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」
を企業ビジョンとしています。KAYAKU spiritは、一人
ひとりの良き心を結び合うという「良心の結合」の
もと、途切れることなく進歩を続けるという「不断の進歩」
によって、世の中に必要とされる「最良の製品」を提供
し、社会に貢献し続けようという、当社グループ共通の理
念です。

当社グループは、KAYAKU spiritを實現し、すべてのス
テークホルダーの信頼に応えるため、CSR重要課題（マテ
リアリティ）を特定し、中長期重点課題と連動した中期
CSRアクションプランに取り組んでいます。本CSRレポー
ト冊子版では、日本化薬グループのCSR重要課題（マテリ
アリティ）の取り組みの一部をトピックスとしてご紹介し
ています。コミュニケーションツールとしてご活用いただき
、より詳細版として公開いたしますウェブサイトも合わせ
てご覧のうえ、当社グループのCSR経営へのご理解をい
ただけますようお願いいたします。

KAYAKU spiritの中で、私自身は特に「良心の結合」と
いう言葉を大事にしており、KAYAKU spiritの實現のため
に、私は日本化薬グループのすべての社員が仕事を通じて
幸福を感じられる企業にしたいと考えています。私たちが
仕事をする上で、経済的な安定や健康で安全な労働環境な
どはもちろんととても大切なことですが、自分が成長でき
ている、周囲を信頼できている、自分は貢献できている……
といった、実感を伴う幸福感が不可欠だと思います。幸福
感を得た一人ひとりが、お互いのことを思い合いながら、
全員で力を合わせてより高い目的、目標を實現していく、
そのような環境を整えてまいります。

日本化薬グループの一人ひとりが、自分の仕事を通じ
て、持続可能な社会にどのような価値を提供することがで
きるかを真摯に考え、一丸となって取り組む、それによ
って日本化薬グループが社会からも必要とされる企業とな
る、私はこれを先導していくつもりです。

世界では、人口の増加に伴う食料・水の不足、児童労働
など労働環境に関する問題、地球温暖化の進行など、気候
変動に関する「パリ協定」や国連の「持続可能な開発目標

（SDGs）」で提起された課題が山積しています。当社グ
ループの事業環境では、IoTをはじめとする高度情報化社
会が進展する中で、より高機能で省エネルギー・省資
源・低環境負荷の化学品素材が求められています。医療
分野では、国内の医療費の増大が社会的な問題となっ
ています。自動車社会は世界中で拡大を続けており、車
の安全性向上はさらに重要な課題となっています。当社
グループには機能化学品事業、医薬事業、セイフティス
テムズ事業、アグロ事業があり、これらを解決するた
めに日々取り組んでいます。

一方で、私たち化学産業には長期的な環境面のリスク
と機会を捉えた事業運営を行うことも求められていま
す。これらは非常に難しい課題ですが、当社グループに
は「世界的すきま発想。」というコーポレート・スロー
ガンがあります。「あり得ない」と思考停止するのでは
なく、「もしかしたら結び付くのではないか？」という
フレキシブルで多角的な考え方を大事にすることで解決
策を見出し、事業を通じて社会に必要な価値を提供し続
けていきたいと考えています。

2019年度はその終盤から新型コロナウイルス感染症に
より世界中が大きな影響を受けました。当社グループで
は変化する状況をグローバルに把握・対応することで、
従業員の安全を確保しつつ、影響を最小限に留めるべく
努力を続けています。ただ、このようなときだからこそ、
私たちが持続可能な社会や環境のために何を優先的
に取り組む必要があるのかを、あらためて考える機会に
していきたいと考えています。当社では現在、経営層・
事業部門・一般管理部門が一体となって「ありたい姿」
の議論を進めています。今後、世界経済への不透明感が
懸念される中でも、働き方や社会環境の大きな変化に対
応していく必要があります。持続可能な社会に必要なと
される当社グループの「ありたい姿」や、事業を通じて提
供できる価値をあらためて考え、そのための取り組み
を、スピード感を持って推進していきます。

今後もコーポレート・ガバナンスやコンプライアンス
の徹底、環境への配慮を重視し、高い倫理観を持って
CSR経営を實踐しながら企業価値を高めてまいります。
ステークホルダーの皆さまにおかれましては、引き続き
一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。